



Pharmacy

小規模調剤薬局様向け

クラウド会計を活用した経理コスト削減のご提案 ～スマートかかりつけ薬局の実現に向けて～

SORA合同会社

2017年7月



Back-Office
Transformation
Services

ご挨拶



Pharmacy

平成28年度の調剤報酬改定により、これから調剤薬局は地域包括ケアシステムの中で、服薬情報の一元的・継続的な把握や在宅での対応を含む薬学管理・指導などの機能を果たす、地域で暮らす患者本位の医薬分業の実現を目指す、「かかりつけ薬局」になることが示されていると理解しています

その実現に向けて2025年までにICTの活用や在宅対応、健康サポート機能、さらに高度薬学管理機能を有する「かかりつけ薬局」になることが求められています

さらに、これまでの調剤業務を薬中心の対物業務から患者中心の対人業務へと変革することで、かかりつけ薬剤師の育成を進めていくこととされています

このように薬局の経営環境が大きく変化する中、からの薬局経営はAI(人工知能)などを活用した生産性向上を実現していく必要があります

SORA Pharmacyでは、小規模調剤薬局のバックオフィス業務(経理・総務全般から財務数値の把握まで)の生産性の向上を低コストのクラウド会計ソフトを中心に構築し、調剤薬局におけるバックオフィスコストを大幅に削減致します。そして、経営判断に必要な財務情報等をリアルタイムに把握できる「スマートかかりつけ薬局」の実現をご支援して参ります

貴社へのご支援の機会を頂けますよう何卒宜しくお願ひ致します

SORA合同会社

CEO 遠藤敏史



クラウド会計を活用した経理コスト削減のご提案

バックオフィスイノベーション 自動化項目例と削減効果

自動化項目	例	期待される削減作業
銀行預金取引	<ul style="list-style-type: none"> ✓ インターネットバンキングと会計ソフトを同期することで預金取引の自動登録が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 預金取引の登録が不要 ✓ 預金残高照合が不要
クレジットカード	<ul style="list-style-type: none"> ✓ クレジットカードの利用明細を会計ソフトに自動で取り込むことでカードの利用日に対応した経費処理が可能 ✓ 交通系カードの明細の取り込みが可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ カード払いの経費登録が自動化され登録が不要 ✓ 決算期末時の経費処理が容易
ECサイト(物販)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 購入したもの明細が会計ソフトへ自動で取り込まれ、会計仕訳の自動化または半自動化が可能 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 購入内容が明確になり会計処理が迅速化 ✓ 購入内容を証明でき仕訳レベルで照合が容易
給与計算	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 勤怠管理から給与計算まで完結し、さらに計算結果が会計ソフトへ自動登録が可能 ✓ マイナバーの管理が容易に実現 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 勤怠管理から社会保険等の計算を含めて労務管理作業を全従業員に依頼することで業務処理が迅速化 ✓ 給与計算がそのまま自動で会計処理へ転記され、給与振込は総合振込で簡単に終了
買掛・経費支払	<ul style="list-style-type: none"> ✓ スキャン等で取り込んだ請求書を会計ソフトに登録することで支払登録から銀行振込、消込までが完了 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 自然に発生主義になり適正な損益把握の実現 ✓ 振込手続が大幅に簡略化

- 会計ソフトはクラウド会計ソフトfreeeの利用を前提としています。なお、ソフトの利用料は弊社のアドバイザリーサービス料とは別にご負担することになります。また会計ソフトのプラン次第では期待される削減が実現できないケースがあります
- インターネットバンキングについては貴社において開設のお手続きが必要になりますが、金融機関のシステムにより自動同期が完全に利用できないケースがあります。そのため、インターネットバンキングを利用する金融機関の選択が重要になります
- クレジットカードの一部は同期ができません。ご利用のクレジットカードが同期可能なカードであるか事前の確認が必要です。またカード明細をインターネット経由で確認するための設定も必要となります
- ECサイトで同期可能な典型的なサイトはamazonやASKULですが、いずれもインターネットでの購入及び同期しているクレジットカードでの購入するなどの運用ルールを明確にする必要があります
- 給与計算については給与計算ソフト(給与freee)のお申込みが別途必要になります。また会計ソフト同様に貴社にご負担を頂きます

クラウド会計を活用した経理コスト削減のご提案

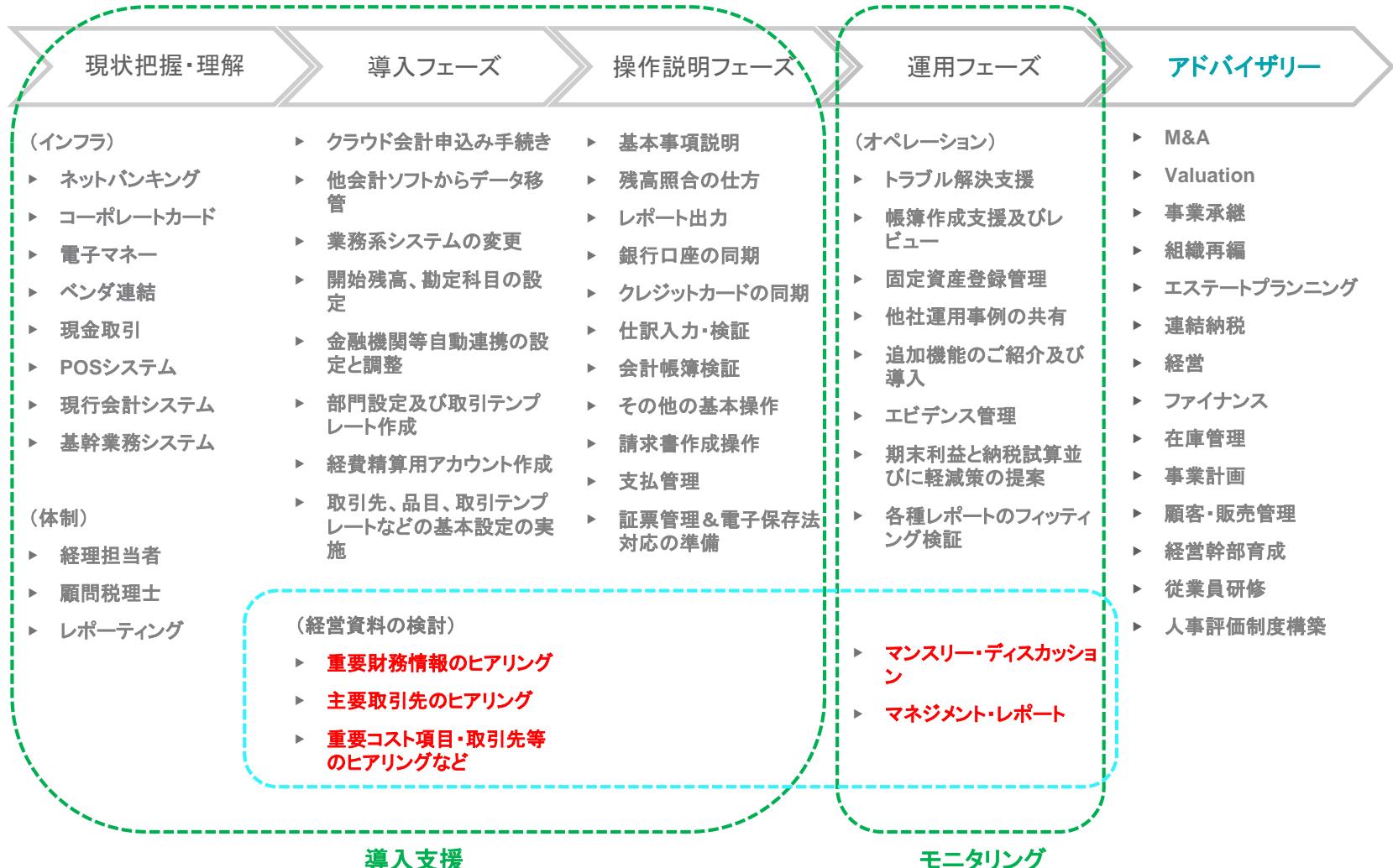
バックオフィスイノベーション 自動化項目例と削減効果(続き)

自動化項目	例	期待される削減作業
窓口収入	✓ 日々の売上をPOSレジから会計ソフトへ自動転記	✓ 売上登録が完全自動化される
保険請求収入	✓ 月末に計上する保険請求を売掛登録することで売掛レポート及び入金時の消込が可能	✓ 入金期日を登録することで資金繰表に入金予定日を反映させることができ ✓ 請求額と入金額の差額を簡単に管理・分析することが可能
スキャナ保存法	✓ 請求書等をスキャンまたはスマホ撮影によりクラウド上に請求書等を保管し、原票書類を廃棄	✓ 証憑の検索及び会計処理との紐づけを容易に確認 ✓ 店舗内が整理され働きやすい環境が実現(保管コストの削減)
経営状況把握	✓ 日々の取引がリアルタイムに会計ソフトへ登録されているため、リアルタイムで自社の経営状況がどこからでも、また、いつでも把握することが可能	✓ 日々の窓口収入の状況から当月の売上予測が容易に可能 ✓ 現時点の預金残高、カード等の支払予定額、買掛や経費の支払予定金額が会計専用の帳票から確認するのではなく、会計ソフトのダッシュボードなどから網羅的な数字を直感的に理解することが可能 ✓ 会計データーをエクセルデーターへ容易に展開できるため短期的な見通しや決算着地を容易に作成することが可能

- 会計ソフトへPOSレジから売上や経費を自動的に連携するためには自動連携に対応したPOSレジを選択する必要があります
- レセコンから会計ソフトへ自動転記が可能なレセコンは現時点ではないと理解していますが、レセコンで抽出するCSVファイルを使って会計ソフト側に取り込むことが可能な場合があります
- スキャナ保存法の適用を受けるためには3ヶ月前に所轄税務署への申請が必要となります。また、事業の規模によってスキャン保存法の運用方法が異なります

クラウド会計を活用した経理コスト削減のご提案

導入支援及びモニタリング・プロセス(例)



担当者のご紹介

担当者



遠藤 敏史

toshifumi.endo@sora-tokyo.com

SORA合同会社

Tel : 03 6451 0655

Fax : 03 6369 4825

Mobile: 090 3732 4146

- 税理士
- MBA
- プライマー・プライベートバンカー(公益社団法人 日本証券アナリスト協会)
- 財務金融アドバイザー(一般社団法人 資金調達支援センター)
- 経営革新等認定支援機関
- 租税訴訟補佐人制度税理士特設講座修了

略歴

- 税理士法人トーマツ(現:デロイトトーマツ税理士法人)及びDeloitte Tax LLP (New York) M&A Transaction services並びにEY税理士法人のタックスパートナーをそれぞれ経て、現在に至る
- これまで22年以上にわたって日系企業を中心とした国内外のあらゆる種類の税法に関して、経営的な視点に立った、タックス・アドバイザリー・サービスを提供
- 国内及び海外クロスボーダー投資案件、国内外の製造販売拠点の統廃合や移転プロジェクト、グローバルトレジャリーセンター設立企画及び支援並びにサプライチェーンマネジメント等のプロジェクトに戦略立案から実行支援まで、タックスチームのエンゲージメント・パートナーとして関与した経験を数多く有する
- その他、企業が持株会社体制へ移行する際の各種税コスト削減に関するアドバイス及び実行支援、SSC(シェアードサービスセンター)、BPO(ビジネスプロセスアウトソーシング)を利用した間接業務におけるコスト削減プロジェクトを税務面から支援を行う
- 大手から中堅ドラッグストア及び調剤薬局まで薬品仕入れにかかる消費税負担の削減支援及び過年度の消費税の還付手続き、消費者金融業の過払い金に係る消費税の還付申請を数多く行った実績を有し、上場小売業に対していくつもの消費税最適化支援を提供している**
- 著書:M&Aにおける「株式交換・株式移転の税務」(清文社・著書)、「M&Aを成功に導く税務デューデリジェンスの実務」(中央経済社・共著)、「企業再編 法律・会計・税務と評価」(清文社・共著)、「M&A Tax Fundamentals 2008、2009、2010、2011、2012」(International Bureau of Fiscal Documentation)など

弊社のご紹介

About SORA



バックオフィス業務を
ミドルオフィス業務へ

*Back -Office
Transformation
Services*

企業名

SORA LLC (SORA合同会社)

所在地

(東京)

東京都渋谷区恵比寿南1-20-6 第21荒井ビル4階

TEL : 03-6890-2430

FAX : 03-6369-4825

(福岡)

福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP博多ビル3階

TEL : 092-686-8488

MAIL : info@ml.sora-tokyo.com

URL : <http://sora-tokyo.com/>

事業内容

バックオフィス支援事業

クラウド・アカウンティング・ソリューション事業

ビジネス・プロセス・アウトソーシング事業

投資事業